

プロポーザル方式に係る審査結果の公表について

業務名	大学院大学施設への再生可能エネルギー等導入事業（P P A 事業）												
プロポーザルの形式	企画競争方式												
業務概要	電力販売契約（PPA）モデルを活用した太陽光発電システム導入し、当該設備で発電した電力を学園施設に供給する。この他、バイオマス発電、風力発電などの再生可能エネルギーの導入、及び、電気バス、電気自動車などの導入を検討し、キャンパスのカーボンニュートラルの実現に貢献することを目的とする。												
優先交渉権者を選定した日	令和4年8月17日												
優先交渉権者の名称及び所在地	OIST再エネ導入事業沖電グループ共同体（代表者：沖縄電力株式会社） (代表者) 沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号												
審査結果	<table> <thead> <tr> <th>参加者</th> <th>評価点</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A社</td> <td>168.8</td> <td>第2位</td> </tr> <tr> <td>B社</td> <td>184.6</td> <td>第1位（優先交渉権者として選定）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(配点：300点)</td> <td>※詳細は別紙のとおり</td> </tr> </tbody> </table>	参加者	評価点	結果	A社	168.8	第2位	B社	184.6	第1位（優先交渉権者として選定）	(配点：300点)		※詳細は別紙のとおり
参加者	評価点	結果											
A社	168.8	第2位											
B社	184.6	第1位（優先交渉権者として選定）											
(配点：300点)		※詳細は別紙のとおり											
選定理由	書類審査（企画提案書・見積書）及びヒアリング審査を行った結果、両者の提案内容や技術力等に大きい差が見られなかったが、B社については料金体系において有利である点、また、県内での実績や協力体制が充実しており、より確実な実施及びリスク対応が期待できることから、B社が高く評価された。												

別紙

(1) 技術提案に関する視点

Evaluation Item 評価項目		Evaluation Point 評価の視点	配点	A社	B社
第1候補施設 導入太陽光発電設備仕様 ・ESB ・第2エネセン	太陽光発電設備	太陽光発電設備の出力(kW)が大きい	20	13.8	12.0
	システム提案の実現性	システム構成、設備設置容量や効率的な自家消費量の考え方等、システム提案の内容が明確で実現性があるか	10	7.4	7.8
	設備の設置方法	設備の設置方法は実現性があるか、また安全性が高く、施設への影響が小さいものになっているか	15	7.4	9.4
第2候補施設 導入太陽光発電設備仕様 ・道路沿い歩道	太陽光発電設備	太陽光発電設備の出力(kW)が大きい	15	2.0	2.0
	システム提案の実現性	システム構成、設備設置容量や効率的な自家消費量の考え方等、システム提案の内容が明確で実現性があるか	10	2.0	4.0
	設備の設置方法	設備の設置方法は実現性があるか、また安全性が高く、施設への影響が小さいものになっているか	10	1.0	2.0
導入設備仕様 ・自由提案	設備	太陽光であれば出力(kW)が大きい等、カーボンニュートラルへの効果が高い	10	4.0	3.6
	システム提案の実現性	システム構成、設備設置容量や効率的な自家消費量の考え方等、システム提案の内容が明確で実現性があるか	5	2.0	2.4
	設備の設置方法	設備の設置方法は実現性があるか、また安全性が高く、施設への影響が小さいものになっているか	5	2.6	2.6
学園の特性を生かした独自提案	提案者が有する知識や技能、経験等を活かした、キャンパスのカーボンニュートラルの実現に資する提案となっているか		50	20.6	23.0
(1) 計			150	62.8	68.8

(2) 実施体制に関する視点

項目	審査内容	配点	A社	B社
工事遂行能力の確保	無理のない実施体制、スケジュール等となっているか	20	14.6	14.8
県内事業者の活用	県内事業者を活用する提案となっているか	20	14.8	17.2
業務遂行能力の確保	無理のないメンテナンス計画、実施体制等となっているか	30	21.0	23.6
事業実施中のリスクに対する対応	事業実施中に発生するリスクに対応できる提案となっているか	20	14.8	15.4
(2) 計			90	65.2
				71.0

(3) 料金体系

加算倍率	配点	A社	B社
下記の数式に準じる。 $60 \text{点} \times (0.6 - \frac{0.4 \times (\text{参考見積PPA単価} - \text{学園実績電気料金単価}) \times \text{予定電力使用量}}{\text{学園実績電気料金単価} \times 105,000})$	60	40.8	44.8
(3) 計	60	40.8	44.8

合計

300 168.8 184.6